

# Press Release

報道関係各位

令和2年2月5日

北の大地の水族館

山内 創

## 完全結氷初日を迎えました！ 暖冬少雪で初の2月中の結氷初日

昨日2月4日、北の大地の水族館の世界初展示「北の大地の四季」水槽において、今シーズンの完全結氷初日を迎えましたことをお知らせいたします。1月中は記録的に雪が少なく、また1月の留辺蘂地区の最低気温の平均は12.2度(気象庁HPより)で、ここ20年で最も高い値となりました。そのため水槽内の水や使用している地下水が冷やされにくかったことに加え、雪による壁がない状態になり太陽光が直接水面の氷に当たり溶融してしまう日が続き、結氷が遅れました。しかし1月末からの雪の影響により昨日2月4日に定義上の完全結氷となりました。順調に冷え込みが続けば2月末頃まで、氷の厚みの変化により寒さを目で体験できる当館でしかできない体験をすることが可能です。

この水槽では厳しい真冬の北海道の河川において、凍った川の下で暮らす魚達がどのようにして冬を乗り越えているのか、暖かい館内から厳しい冬に耐える魚達の暮らしを垣間見ることが出来ます。

### 館長のコメント

この冬は記録的な少雪が続き、寒さもマイナス20度に届かず最高気温がプラスになる日も少なくありませんでしたが、1月末から2月1日にかけてようやくこの冬の少雪を取り戻すように雪が降りました。寒さがゆるく雪が少ない日々は普通に生活する我々にとっては便利なことも多く感じます。ところが自然界では暖冬少雪により冬眠しない動物が現れてしまったり、少雪により雪解け水が減れば川ではサケやカラフトマスの稚魚が無事に孵化できなかつたりしてしまいます。今回なかなか結氷に至らなかったことで北海道の変わりゆく自然環境に思いを巡らせる機会となったと実感しています。今後も展示を通して北海道の様々な自然環境を伝えていけたらと考えております。

# Press Release



※令和2年2月4日16時頃の四季の水槽の様子。

お問い合わせ 北の大地の水族館 担当/山内 創  
TEL : 0157-45-2223